

コラージュニ俣川

小規模多機能型居宅介護 サービス評価【2016年度】

◆自己評価 事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】 ① 適宜夕方への送迎後の時間などに簡易的なミーティングを行っていく 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ① 職員体制を整え、利用相談の際は職員同席とする。（同席者がフェイスシートなどの記録を行う）

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	10	1	3	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	10	3	1	14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	12	1	1	14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	12	1	1	14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	12	1	1	14

出来ていると感じる点
・利用相談の時は職員を同席させている。 ・利用前に介護計画等を読み、またミーティングでご本人、ご家族の情報を共有している。 ・利用者やご家族の希望をフェイスシートを読んで共有している。 ・利用開始時、本人が不安を感じず早く馴染めるよう声かけをしたり配慮している。 ・朝礼、夕礼と1日2回のミーティングを行い、利用者の日々変わる様子、家族からの要望などをスタッフ間で情報共有し、活動できている。

改善を必要と感じる点
・利用開始前に全体のミーティングがなく朝礼、夕礼での申し送りだけになっており、新規の利用者に対してどういう介護を行っていくかという方向性を確認する作業が十分出来ておらず、ニーズなど深い理解に繋がっていない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】 ・利用開始前に時間を作り、新規の利用者について話し合う機会を作る。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ・言動を見ながら早く慣れるように話しやすい環境づくりをする。 ・利用者様やご家族とコミュニケーションを取り、お互いの信頼関係づくりをする。 ・職員体制を整え、利用相談の際は職員同席とする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 1 月 9 日
2. 「～したいの実現」(自己実現の尊重)	メンバー	ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
<p>【すぐに対応できること】</p> <p>① 小規模多機能型居宅介護計画書を職員とともに作成する。</p> <p>② ミーティングの際、更新された介護計画を全員で確認し方針を周知する。</p> <p>【時間がかかるが、継続して対応すること】</p> <p>① 職員全員が介護計画書の意義をわかり、計画に沿って対応する。</p>

個人チェック項目		出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	4	4	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	9	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	10	3	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	9	5	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	7	2	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書に沿った介護が実現出来ている。 ・利用者様の気持ちを理解しながら支援を考えている。 ・利用者様の要望はスタッフ間で情報共有している。 ・ケアプランの内容を確認し、申し送りの時に情報を職員同士で共有している。 ・各利用者様の「～したい」→スタッフに頼む→目的達成、とならないよう、目標の理解、関わりを意識して接している。 ・本人の「～したい」、ご家族の「～してほしい」という要望に沿うケアが出来ている。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、夕礼だけでなく、職員全員で確認し方針を周知するためにも全体ミーティングを行う必要がある。 ・計画書を作成する段階に職員がタッチできていない。介護計画の更新の時など周知されていない部分もある。

どのように改善していくか
<p>【すぐに対応できること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体のミーティングで計画書を更新する際に話し合う場を設ける。 ・更新された介護計画書を確認し、周知する。 ・朝のミーティングを利用して、次の対応に活かす。 <p>【時間がかかるが、継続して対応すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書の内容を理解し、援助を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

3. 日常生活の支援

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】 ① 利用者ひとりひとりのできること、できないこと、できそうなことを見直して職員で共有して対応していく。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ① 全体ミーティング等で残存能力の活用という観点からも議論を重ね、可能な方には歩行訓練なども積極的に行っていく。

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	10	1	3	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	6	7	1	14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	12	1	1	14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	11	2	1	14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	12	1	1	14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	12	1	1	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・朝と夕に利用者の状況の申し送りと連絡事項の確認をしている。・体調の変化、日常の言動など気づいた時は介護記録や申し送りノートなどに記載し、対応を職員同士で話し合い、共有している。・利用者に合わせて食事、入浴、排泄等の日常の援助が行えている。・利用者の声を職員間で共有し、支援を考えている。・利用者各々の喫食の状況を把握し、食材、調理法、味付け等を工夫して提供している

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・利用者全員について以前の暮らし方の 10 個以上の情報を共有できていない。・全体ミーティングの必要性（日々の注意すべきことは確認できても①に対する深い話し合いは出来ない。）・家政婦に近い状況で、過剰な援助をして本人の出来る力を活かさない時もあった。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】 ・一人ひとりの以前の暮らし方、好きな事、嫌いな事などをまとめたものを作成する。 ・本人との関わりや個人ファイル等で情報を得て、特徴やこだわり注意到し介護にあたるようにする。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ・以前の暮らし、日常での出来事の情報収集。 ・全体のミーティングなどで残存能力を活かしていく方法を話し合い、日々の業務に取り入れる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

4. 地域の暮らしの支援

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】 ① 近隣の方とどのような関わりをしてきたかを、利用者様本人・ご家族より聴取する。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ① 利用者様とご家族のご意向に配慮しながら、近隣住民の方に、ご本人がコラージュ二俣川を利用されていることを知っていただき、いざというときの連絡などに活かしてもらう。(自治会や行政で作成している災害時要支援者名簿への登録)(利用者ご家族の了承のもと、各自治会への利用状況の報告を行う)

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7	3	4	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	9	4	1	14
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	9	4	1	14
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	10	3	1	14
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	9	4	1	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・運営推進会議にて困難事例を報告し、ご意見を頂くことが出来、対応に活かした。・ゴミ等の援助は訪問時に行っている。・利用者様の知り合いの方が良く来所し、談話されている。・かかりつけ医の受診の継続のための援助をしている。・レクリエーションや世間話を活用し、失礼のないよう利用者本人、またご家族の方々から生活スタイルなどを聞き取りをさせて頂いている。・買い物や理美容など、利用者の希望に応じて同行援助を行っている。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・近隣の方にコラージュとして関わることが出来ていない。送迎時、近所の方と話す機会がない。・これまでの人間関係など理解が十分でない部分もある。・個人情報であるため、近隣の方にどこまでお聞きしてよいか、またどのようなお付き合いをされているかがわからない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】 ・近隣の方などと、どのような関わりだったかを本人やご家族に聞く。 ・利用者とその家族を知るためにフェイスシートや資料を読み込む。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ・ご家族や利用者本人の了承を得て、近隣の方、自治会などに利用していることをお伝えしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】
【時間がかかるが、継続して対応すること】
① 役所や地域ケアプラザなどの公共機関や地域の医療機関などを通して情報を収集する。

個人チェック項目		出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7	2	5	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	9	4	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	1	1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	13	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	13	1	0	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・ 困難事例について、地域包括に協力いただき、地域の方や医療関係、民生委員など利用者に関わりのある方々のご意見を聞き、対応に活かすことが出来た。・ ご家族の都合や利用者本人の体調による日程の調整や急な時間の変更にも対応できている。・ 本人の状態変化、ご家族のニーズに合わせた通い、訪問、宿泊が提供されている。・ 当日、利用者の状態に合わせて食事、風呂、トイレ、運動、リハビリなどの支援が行われている。・ ミーティングを通じ利用者、家族の要望には十分こたえるべく、あらゆる変化にも対応できている。・ ご利用者様や、支えているご家族の生活に合わせた通い、訪問、宿泊が提供され、変化に伴い柔軟に対応できている。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・ 地域の機関を通じた情報収集は十分に出来ていない。・ もっと地域資源を把握し活用していく。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】
【時間がかかるが、継続して対応すること】
<ul style="list-style-type: none">・ 地域ケアプラザなどに訪問し、話を伺う機会を増やす。・ 地域ケアプラザなどから情報を集める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

6. 連携・協働

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】
① 各種会議については、管理者以外の職員も参加する。(職員全体が会議に出席する機会を持つ)
【時間がかかるが、継続して対応すること】
① 職員の体制を整備し、複数名で外部の会議や研修会に参加できるようにする。
② 行政に事業所に出向いて必要なことを教えて頂けるよう働きかける。

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5	3	6	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	9	2	14
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	9	2	14
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団など)の活動やイベントに参加していますか?	9	4	1	14
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	12	2	0	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・ 保育園の子ども達の訪問、また保育園の行事への参加など前よりも出来ていると思う。・ 職員が会議や研修に積極的に参加している。・ 近隣の祭りや保育園のイベントへの参加、障害児施設との交流がある。・ 管理者がサービス担当者会議に出席している。・ 運営推進会議に多数の職員が参加できている。・ 保育園のイベントの参加やドライブなどに行き、近隣との交流がある。・ サービス機関などの会議は管理者と社員が出席し、内容は朝礼で口答、また纏めた物を全スタッフが確認できるようにしている。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・ ボランティアなどの訪問があまりない。・ その他の機関との会議が十分に出来ていない。・ 地域包括支援センターとの会議に職員が出席できていない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】
・ 外部との会議内容を書面に起こし、共有する。
【時間がかかるが、継続して対応すること】
・ その他の機関と話し合う機会を作っていく。
・ 多くの職員が外部との会議や研修会に出席、参加できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

7. 運営

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】
【時間がかかるが、継続して対応すること】
① 散歩や買い物などに出かけた時に近隣の方と会話できるよう働きかけ、意見を聞かせていただく。
② 送迎の際、利用者の近隣の方と関わることでご意見をいただく。

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	5	5	4	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	10	3	1	14
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	12	1	1	14
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	11	2	1	14
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	10	3	1	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・運営推進会議などで自治会の方の意見を聞き、地域の意見を取り入れて運営に活かしている。・利用者様及びご家族からの要望や苦情は逐一毎日の申し送り、また申し送りノートの記載の確認により共有している。・全体ミーティングでは全員が発言し、内容を共有している。・全体のミーティング、朝礼や夕礼などの時に意見を出している。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・利用者の近隣の方との関わり、コラージュの近隣の方との関わりは十分に出来ていない。・もっと地域の方など多くの人の意見など知る機会がない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】
【時間がかかるが、継続して対応すること】
<ul style="list-style-type: none">・地域に対してコラージュがどう捉えられているか、アンケートを取るなどして把握していく。・送迎の際、近隣の方と関わりをもつ。・地域、近隣の方々と接する機会を作り知っていただくように働きかける（プライバシー保護の面はあるが）。例えば日常における見学会など。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

8. 質を向上するための取り組み

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】 ① 全体ミーティングで職場外の研修に参加した人に研修の内容をシェアしてもらう。 ② 定例ミーティングの際、事業所内勉強会を開催する。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ① 交代で地域連絡会に参加する仕組みを作る。 ② 定期的に社内研修を行うよう本社に働きかける。

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3	9	2	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか?	7	6	1	14
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	7	6	1	14
③ 地域連絡会に参加していますか?	2	11	1	14
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか?	9	4	1	14

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・研修への参加は積極的に行っている。・運営推進会議に出席している。・利用者の事故やリスクに対する対応を職員で話し合い共有している。・職場外の研修などスキルアップできるよう資格取得にも努めている。・職場外の講習会へ参加させて頂き、講習内でさらに他施設の方とグループワークを通して様々な意見を参考にさせて頂いている。・個人的にはダブルワークをしている事業所開催の研修には年間を通しすべて参加している (身体介助、服薬、食中毒、認知症ケア、救急救命など)

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">・研修内容のシェア、事業所内勉強会の実施は十分に出来ていない。・地域連絡会には参加できていない。(参加されたスタッフから情報をミーティングなどでシェアしてもらっている)・資格取得や研修に参加できていない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】 ・アクシデント報告書やヒヤリハットなど積極的に報告し、その日のスタッフと夕礼などで話し合いをする。一部の利用者だけでなく全体を見るようにすると細かいところまで気づけるのではないかと。 ・全体ミーティングなどで簡易的でも良いから研修内容をシェアする機会をもつ。 ・研修に積極的に参加する。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ・社内研修を定期的に行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 9 日

9. 人権・プライバシー

メンバー ミーティング参加者 計 14 名

◆前回挙げた改善点に対する取組み状況

前回の改善計画
【すぐに対応できること】 ① プライバシー、個人情報の管理について全体ミーティング等で意識の統一を図っていく。 ② 身体拘束、虐待は絶対にしない。 ③ パソコンの情報が消えた場合に備え、USB メモリー等にバックアップをとり管理する。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ① 必要な時に備え成年後見制度の勉強をしていく。

個人チェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	8	2	4	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	出来ている	改善の必要がある	未回答	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	13	0	1	14
② 虐待は行われていない	14	0	0	14
③ プライバシーが守られている	12	1	1	14
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	5	4	5	14
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	12	1	1	14

出来ていると感じる点
・身体拘束、虐待は絶対に行わないことをミーティング等で意識統一を図っている。 ・人権、プライバシーを守る為、他の利用者には情報を話していない。 ・利用者の気持ちに配慮し、可能な限り同性介助を行っている。 ・認知症など判断力に乏しい利用者様には繰り返し言葉でお伝えし（またはボディランゲージで表現）、決して身体拘束や虐待は行われていない。 ・身体拘束、虐待が行われるような状況がない（介護者側が被害をこうむることがあっても） ・本人に対して全てのスタッフがどの場面でも接し方、言葉がけなどに気を付けながら介護をしていることを常感じられる。

改善を必要と感じる点
・高齢者虐待について深く理解する必要がある。 ・利用者様の情報を他の利用者様にどこまで伝えるのか、対応が統一されていない。 ・成年後見制度が必要な利用者様が居なかったため、十分に学習できていない。

どのように改善していくか
【すぐに対応できること】 個人情報の管理など常に全体の意識の統一を図っていく。 【時間がかかるが、継続して対応すること】 ・成年後見制度についての理解を深める。 ・高齢者虐待や身体拘束が行われていないことを常に考えていく。

平成 28 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 グリーンネット	代表者	代表取締役社長 鈴木 敏男	法人・事業所の特徴	法人は高齢者介護、障害者支援、障害児サービスとともに認可保育園を運営。 事業所の階下に保育園、近くに障害児サービスがあるため、世代を超えた交流を行っています。また、スーパーや商店、クリニックなどがすぐ近くにあるため、利用者のニーズに合わせ、買い物援助や理美容・通院同行も対応しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 コラージュ 二俣川	管理者	山内 史美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	4 人	1 人	0 人	1 人	1 人	5 人	1 人	15 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	申し送りノートを利用者の個人の情報と業務に関するものに分けて記載し、利用者の情報の共有を行い、一貫性のある援助を行う。	申し送りノートや介護記録等の書式を変更し、利用者の情報を職員が見落とすことの無いように確認方法についても話し合いを行なった。	自己評価の設問や単語が分かりにくく、スタッフによって質問内容の理解に差があるのではないかと。自己評価を行う前に設問や単語の意味に関して話し合い、共通の理解を持った上で回答する必要があると思う。 自己評価の書式も漠然としており、事業所の困難事例や行政・包括などからの相談事例など、より事業所の具体的な取り組みが評価できる書式に改善すると良い。 また、自己評価の書式の中に民生委員や地域の資源という表現があるが、人に対して資源という表現は失礼ではないかと。	利用者がその人らしく、不安なく生活できるように情報をきちんと共有し、介護計画を理解して支援を行う。 自己評価については評価する方々が分かりやすいように自分たちの言葉で具体的な取り組みを伝えられるように書式についても検討、変更を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	夜間は宿泊者の部屋の使用状況に合わせたテーブル等の配置を行い避難経路の確保を行う。	夜間は避難動線を考えて食卓や椅子の配置を行っている。	客観的に見える部分で「ハイ」と答えられた。	パーテーションを区切って使用する際の動線を考えた食卓の配置を決める。
C. 事業所と地域のかかわり	万騎が原ケアプラザとのより良い関係をつくる。 民生委員との繋がりをつくる。 地域の行事により多く参加する。	地域包括に困難事例について相談させていただき、また地域包括や行政からの困難事例の相談もいただいている。	少しずつ頑張っていると思う。	地域包括や民生委員、かかりつけ医・薬局等と良い関係をつくり、情報交換を行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	個人情報に配慮し、ご家族の了承のもとで各利用者の所属自治会や近隣住人に利用状況を伝えて情報を得られるような関係づくりを行う。	独居の利用者や徘徊の危険がある方などは当所を利用されていることを近隣の方に伝え、協力いただいている。	地域の問題を抱えている人の情報を収集するとあるが、これは民間の一事業所の守備範囲を超えており、ケアプラザなどの公的な施設のやるようなこと。 まずは利用者さんが居る地域の民生委員との連携を行ってほしい。	利用者の地域の民生委員との関係づくりを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の際の各委員の指摘事項について常に改善していく。	困難事例について議題とし、対応についてご意見をいただき、方向性を見つけることが出来た。	運営推進会議に出てきたことは具体的に皆さんの意見を聞いてそれが改善されているということを実際に見ているからわかる。	引き続き、会議中でのご意見を運営に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の避難訓練を行う。 ・防災拠点を全職員が周知する ・ケアプラザや地域の防災訓練に参加する。 	日中の避難訓練を行い、問題点を見つけることが出来た 地域の防災訓練には参加できていない。	周知では意味合いが違っているので「事業所の防災拠点を全職員が分かっている」としたほうが良い 清正会さんで特養・保育園・ケアプラザ等の合同避難訓練を行っているので、参加させてもらい今後コラージュだけでなく、保育園も含めビル全体の避難訓練を行う際の参考にとよい。	保育園との合同避難訓練を定期的に行う。 「清正会」様の避難訓練に参加させていただき、保育園との合同訓練を行う際の参考にする。